作文を書こう　1　　ニュージャージー補修授業校　（２０１２年４月２８日）

作文を書くことは、日本語という「ことば」を使って、「ことばの力」と「じぶんの考え」を育てることです。

みなさんは、おうちで、お父さんやお母さんとお話をしていますか？

「はい」と答えた人は、だいじょうぶです。

「いいえ」と答えた人は、**たくさんお話をしてください。**たくさんお話をすると、作文を書く力がついてきます。

これから、作文をかくためのヒントやコツを教えます。作文が好きな人も、あまり好きでない人も、**おうちの人といっしょによく読んで**、書いてみましょう。**初・中等部の保護者の皆様にもぜひ読んでいただきご協力をお願いします**

作文を書くコツ　①

○は、自分が「したこと」「見たこと」「聞いたこと」などを書くのです。

次の作文で、どちらがわかりやすいですか？　それはなぜですか？

よい作文のまねをしましょう。とくに、＿＿＿の所が大切です。

学習は、「まねぶ」（まねをすること）からはじまります。

【例】

「遠足」

学校の遠足で、あさひ公園に行きました。

バスで、とも子ちゃんととなりの席にすわりました。

おしゃべりをしたり、ゲームをしたりしているうちに

公園に着きました。公園の中でみんなでさんぽして、

お昼になったら、おべんとうを食べました。

×　楽しかったです。

「遠足」

遠足で、あさひ公園に行きました。

○しばふが、まるで緑のじゅうたんみたいに広がっていた

○ので、とも子ちゃんといっしょにねころがって見ました。

○　でんぐりがえしもしてみました。

家のおふとんの上でやるより、学校のマットの上で

○やるより、くるん、とじょうずに回れました。

とも子ちゃんは、

○「すごい。じょうず。」

○　と、いってくれました。

○　わたしは、とくいになって、なんども回りました。

○　けしきがぐらぐらゆれてくるまで、ずうっと回って

○いました。